

絵本をつくる人と語るコラム

絵本 Vol.11

いいね!

今回の「いいね!な絵本」は



『ねこのようしよくやさん』 『ねこのラーメンやさん』

KORIRI 著
金の星社

今回のいいね!な絵本は、金の星社『ねこのようしよくやさん』『ねこのラーメンやさん』の2冊をご紹介します。著者のKORIRIさんは、インスタグラムに5.6万人超のフォロワーを誇る人気作家さんで、大の猫好き。猫たちを愛する気持ちが、絵本を通して伝わってくるようです。



自由にマイペースな猫たちの姿に、あこがれています

2冊とも、初めての絵本とは思えないほどに奥行きがゆたかです。物語をどう発想されるのでしょうか？
実在する猫たちにたくさんのヒントをもらっています。1冊目の『ねこのようしよくやさん』では、ストーリーにブラ



『ねこのようしよくやさん』では猫の店主がハンバーグを、『ねこのラーメンやさん』では猫の店主がラーメンを、一生懸命つくってお客さんにふるまってくれます。どの子もなんだか人間みたいで...? 著者のKORIRIさんに、作品の魅力や制作秘話について伺いました。

2022年1月に『ねこのラーメンやさん』が刊行されました。2冊は、SNS投稿から生まれた絵本と聞いたのですが...。そうなんです。インスタグラムのアカウントに世にも不思議な猫世界という猫が人間みたいに暮らす世界のイラストを投稿し始めたところから生まれました。2017年には世にも不思議な猫世界イラスト作品集(辰巳出版株式会社)になり、その後2020年に初めての絵本『ねこのようしよくやさん』が発売されました。『ねこのラーメンやさん』で絵本は2作目になります。子どもの頃から絵は好きでしたが、本格的に描き出したのは投稿を始めてからです。最初は、今のようになくさんの人に見てもらえるとは全く予想していませんでした。更新が気まぐれなのは、当時も今も変わりませんが...。(笑)



『ねこのようしよくやさん』では、主人公のハルオシェフも助手のみかんちゃんも私の自宅にいる2匹の猫、春男くんのみかんちゃんがモデルなんです。あ、私がキッチンで夕飯の洋食メニューをつくっていたら、春男くんが邪魔してきたことがあったんです。そこから『洋食屋ハルオ』という大人向けのキャラクターが生まれました。絵本ではこれを子ども向けのストーリーに新たに仕立て直しています。それから絵本では、みかんちゃんのつまみ食いもハルオくんがやさしくなだめる場面があります。これはもう、2匹が毎日繰り返している光景そのものです。春男くんは「怒る」ということがなくて、いつもみかんちゃんを許してあげたり、譲ってあげる子なんです。相手を受け入れるおらかなさが、絵本の画面からも読んでいる人に伝わって、いけばいいなと思っています。

2冊目の『ねこのラーメンやさん』には、「猫あるある」をちりばめました。店主のマオさんが爪とぎをするところとか、ラーメンを食べようとするお客さんが猫舌なところとか...。これもやっぱり、実在の猫の行動や性格から着想しています。マオさんのモデルになった猫ちゃんも実在します。実際に会ったことはいませんが、写真などから伝わるその子のキャラクターを生かしながらストーリーをつくっていきました。

いいね!な絵本を作った人



KORIRIさん
イラストレーター。猫が人間のように暮らす世界を描いた「世にも不思議な猫世界」は、LINEスタンプの他、グッズやイラスト集(辰巳出版)など幅広く展開。『ドラ猫進化論』(三賢社)、『はげんねこ』シリーズ(二見書房)の装画も手がけている。Twitter: @koriri222 Instagram: @koriri222

KORIRIさん、ありがとうございます。
いつもあなたがかい応援をありがとうございます。子どもたちが楽しく読んでくれている様子をSNSで知るたびに、しあわせな気持ちでいっぱいになります。絵本を通して楽しい時間を過ごしてもらえたらうれしいです!

最後に読者へメッセージをお願いします。
猫って、自由にマイペースです。あこがれです。絵本ではそんな猫たちが主人公だからこそ表現できる、ゆるさや優しい世界を届けたいなと思っています。絵本一冊をつくるには長い時間がかかって実は途中でくじけそうになることもあったんです。でも、だからこそ完成した時にはうれしいし、読んでくれた人たちに喜んでもらえた時はもっとうれしい。これからも猫たちの登場する絵本をつくっていったらいいなと思います。

『ねこのようしょくやさん』『ねこのラーメンやさん』のお求めはお近くの書店等にお問い合わせください。



犬派のわたしがひとめ惚れする、猫たちでした

齋藤裕子さん

絵本編集者



通販マニアのわたしが、ある通販会社の“猫部”というサイトで出会ったのが、KORIRIさんの「世にも不思議な猫世界」グッズ。ずっと犬のいる家に育った犬派がひとめ惚れでした！登場する猫たちの魅力もさることながら、そこに「人世界」が見えてくるのがまた魅力なのだと思います。「とにかくこの世界を絵本にしたい!」。その思いから、絵本に親和性がある洋食屋さんのハルオシェフとみかんちゃんにトップバッターをお願いしました。

いいね!

な絵本を編集した人

齋藤裕子さん

金の星社編集。『ハッピーバースデー』、『昔話法廷』シリーズ、『まいにちがプレゼント』他、いもようこ作品等を担当。『ねこのラーメンやさん』は編集518作。



絵本を動かしてみました

絵本

ねこのようしょくやさん



ハルオシェフとみかんちゃんがハンバーグのタネをこねるシーン

動画



2匹を交互に上下に動かすことで、じっくりこねている様子がリアルに表現されています。

ぐるぐるという文字が出たり消えたりします



絵本

ねこのラーメンやさん



マオさんがじまんの爪でかつおぶしを削るシーン

動画



腕の動きに合わせてかつおぶしを舞わせることでよりリアルな表現になりました。

汗や鼻息が出たり消えたりします

ガリガリという効果音が入ります



林春輝さん

映像制作



絵本の世界観をよく出せるよう、動きのスピードには気を配ります

絵本を動画にする時は、通常のアニメーションほど動きをつけません。というのは、絵柄が速く大きく動き過ぎると、作品のもつ世界観が崩れてしまう可能性があるからです。『ねこのようしょくやさん』『ねこのラーメンやさん』の2つの短編動画でも、動きのスピードと作風のバランスに気を配り、ほのぼのとした雰囲気を十分に出来るように工夫しました。文章の現れ方も、ちょうど人が読むくらいのゆっくりさで、見やすく表示されるように調整しています。絵本で想像した世界が、動画になって目で見られると、子どもたちがとても喜んでくれるな、という印象です。

林春輝さん

図書印刷株式会社ブレス本部所属。入社後2年間製版作業を担当し、2021年から映像制作の部署へ異動。映像制作においては作品イメージを崩さないこと、また視聴者に興味を持ってもらえることを大切にしている。

いいね!

な絵本を動画にした人

